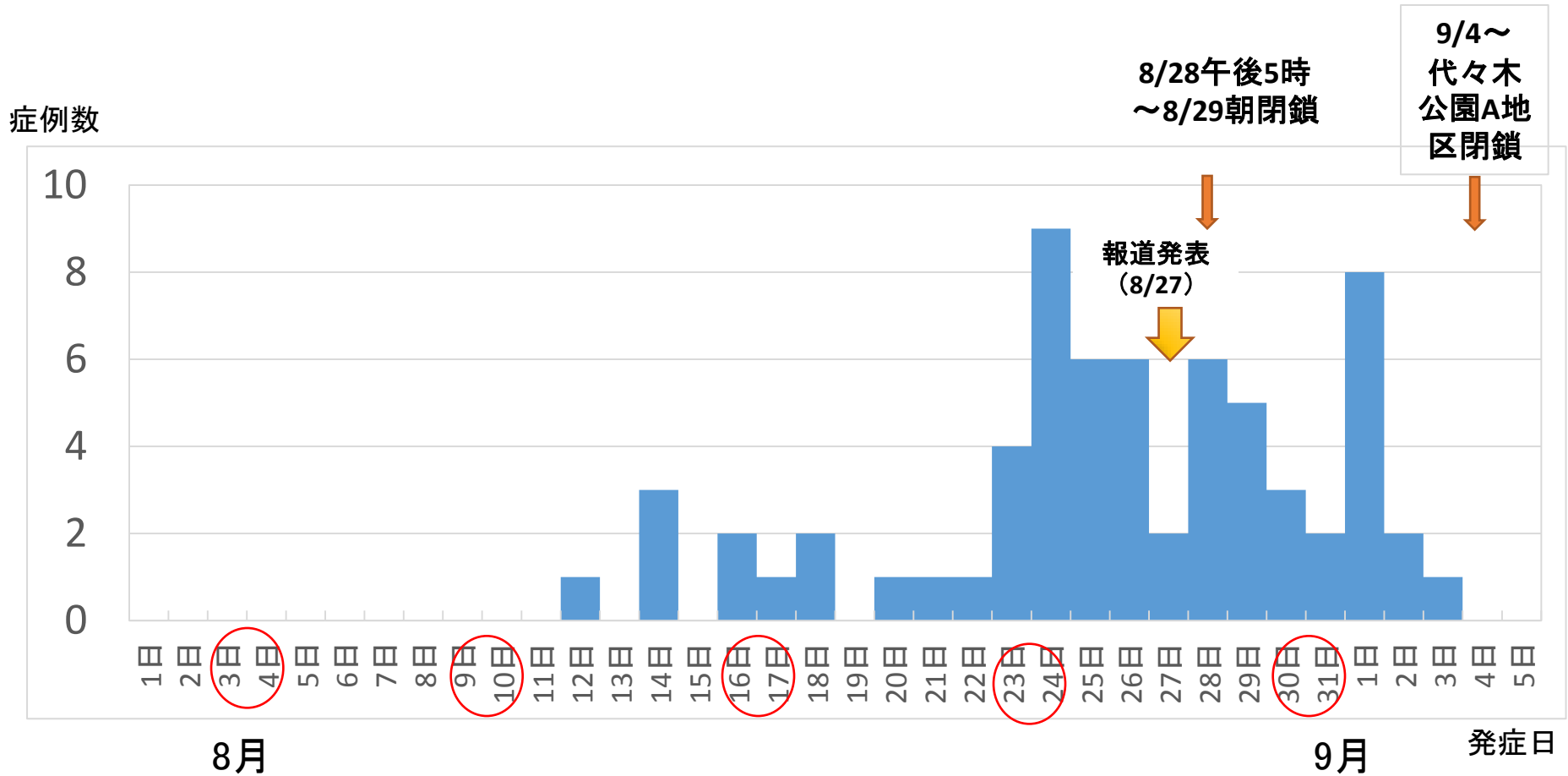


デング熱の国内感染症例に 係る疫学情報のまとめ(n=67)

国立感染症研究所感染症疫学センター
2014年9月5日現在

デング熱の国内感染症例の発生状況(発症日別)

(n=66、発症日不明の1例を除く)



※厚生労働省発表(2014年9月5日現在)に基づく。

○ 週末

症例の基本情報 (n=67)

●年齢及び性

	男性	女性	不明	計
10歳未満	3	0	0	3
10代	6	10	1	17
20代	9	12	0	21
30代	4	4	0	8
40代	4	6	0	10
50代	3	0	0	3
60代	1	0	0	1
70代	3	1	0	4
計	33	33	1	67

●居住地

都道府県名	症例数
東京都	42
埼玉県	5
神奈川県	4
千葉県	3
新潟県	3
大阪府	3
山梨県	2
北海道	1
青森県	1
茨城県	1
群馬県	1
愛媛県	1
計	67

●公園の訪問と蚊の刺咬

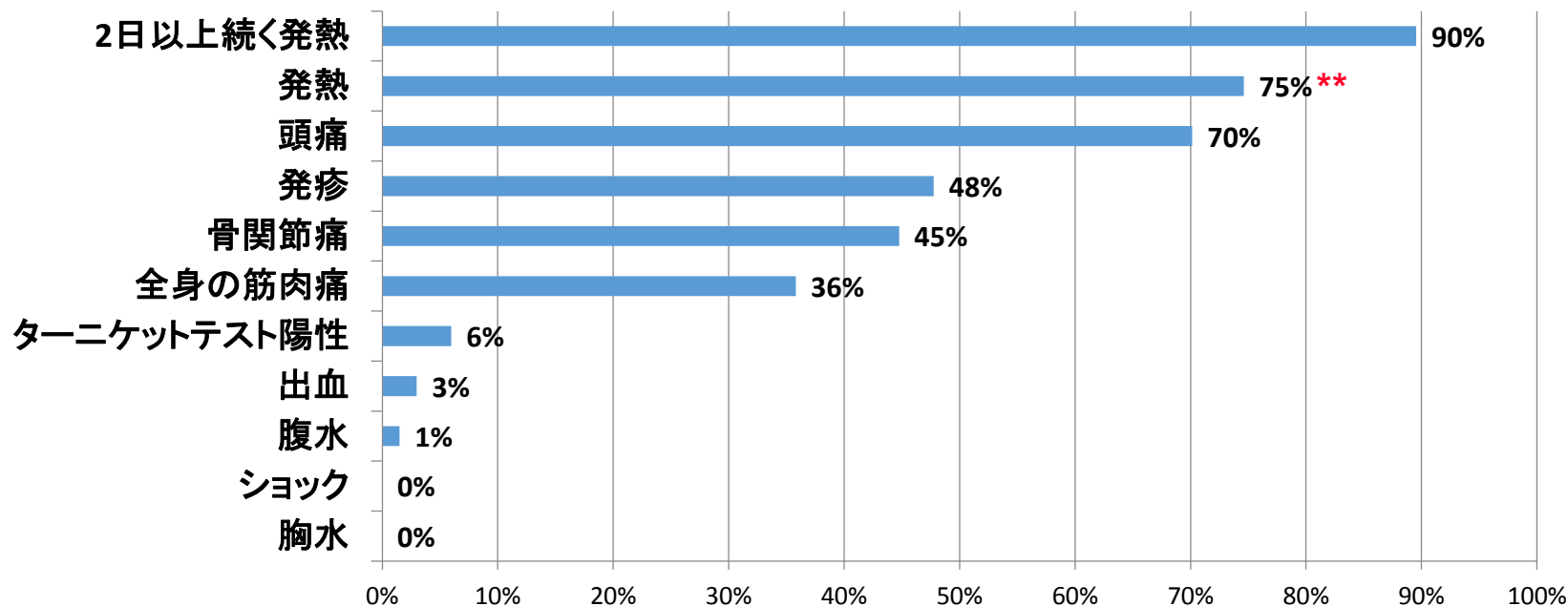
	蚊の刺咬			計
	あり	覚えていない	不明	
代々木公園				
行った	31	2	19	52
周辺へ行った、周辺を通った	12	1	1	14
新宿中央公園へ行った	1	0	0	1
計	44	3	20	67

※厚生労働省発表(2014年9月5日現在)に基づく。

報告例の臨床症状*のまとめ (複数回答、n=67)

*届出票の項目

デング出血熱(届出基準: 2~7日持続する発熱、血管透過性の亢進、 $10万/mm^3$ 以下の血小板の減少、出血傾向の4つ全てを満たす症例)は報告されていない。



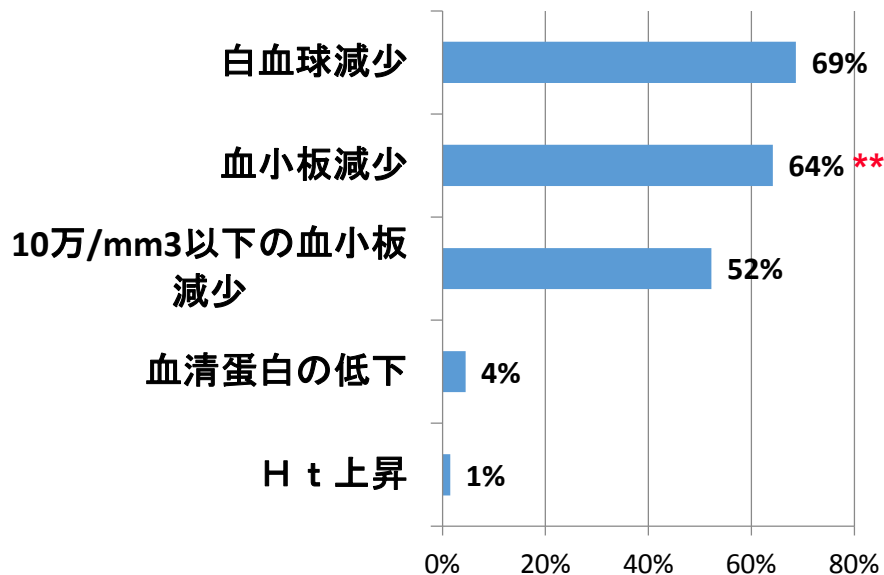
感染症発生動向調査より2014年9月5日現在

**発熱の出現割合は未確定

発生届に登録された検査所見*のまとめ (複数回答、n=67)

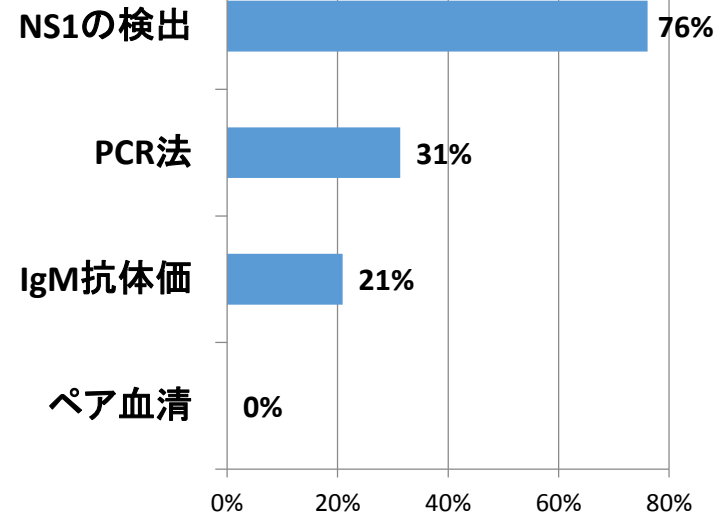
*届出票の項目

一般検査



デングウイルス確定診断

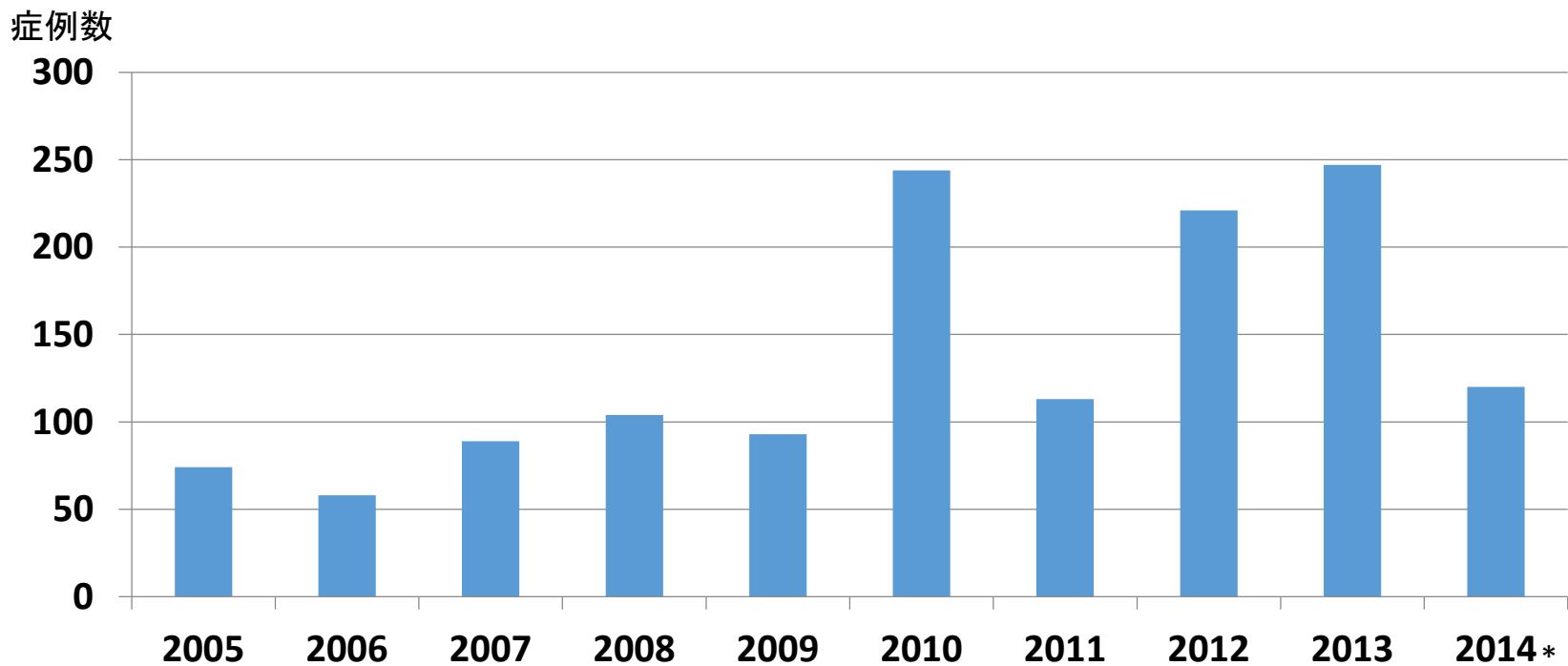
血清型が報告された症例は11例であり、すべて1型。



**血小板減少の出現割合は未確定

感染症発生動向調査より2014年9月5日現在

参考) デング熱年別累積報告数 (2005-2014年9月5日)



*国外感染例のみ120例

感染症発生動向調査より2014年9月5日現在

まとめ

- 2014年8月以降に報告された国内感染例は、9月5日現在で67例である。
- 感染場所として、代々木公園(その周辺を含む)が推定される症例がうち66例であった。
- 67例のうち、報告された臨床症状は2日間以上続く発熱が最も多かった(90%)。頭痛も70%で報告があったが、発疹や関節痛は45%前後の割合であった。
- 重症型であるデング出血熱の報告はなかった。